




シラバス参照

④ 科目区分	学部演習
④ 科目名	日本政治外交史演習
④ 曜日・講時	前期 火曜日 4講時 その他 前期 火曜日 5講時 その他
④ 単位数	4
④ 担当教員	伏見 岳人
④ 実務・実践的授業 ※○は、実務・実践的授業であることを示す。	
④ 授業形態	演習
④ 週間授業回数	2回毎週
④ 配当学年	2,3,4年
④ 対象学年	-
④ 科目ナンバリング	-J
④ 使用言語	日本語
④ 備考	

④ 実施方法 (対面・リアルタイム・オンデマンド・ハイブリッド等)	対面
④ 連絡方法とクラスコード	gbipezw
④ 初回授業日等	4月19日(火)
④ 授業題目	近代日本の政治指導
④ 授業の目的と概要	この授業は、政治指導の意義について、近代日本の歴史を素材として考察することを目的とする。原敬(1856-1921)は、歴代の日本の首相の中で、トップ3に入る業績とそれを裏付ける詳細な日記を残したことで知られる政治家である。近代日本の政党政治を牽引し、初の世界大戦前後という未曾有の国際環境の変動(スペイン風邪の流行も含まれる)に対処した経緯を学び、危機における政治指導の役割について理解を深めることを目指す。 The aim of this seminar is to help students to learn about the political leadership of Hara Takashi (1856-1921), who served as the prime minister during the post WW1 period. Participants are required to read materials written in Japanese and to attend all the classes in Kawauchi campus.
④ 学修の到達目標	原敬の軌跡を当時の歴史資料に基づいて再現し、危機における政治指導の役割について理解を深めること。
④ 授業内容・方法と進度予定	毎回の授業は、担当者による報告と、全体での議論を中心に進められる。 まず、入門書的な新書を講読し、基本的な知識と研究状況を理解する。その上で、第一次大戦期から首相時にかけての『原敬日記』を講読していく。『原敬日記』のコピーは用意する。 1 インタロダクション 2 評伝を読む(一) 3 評伝を読む(二) 4 第一次大戦期(一) 5 第一次大戦期(二) 6 第一次大戦期(三) 7 第一次大戦期(四) 8 戦後首相期(一) 9 戦後首相期(二) 10 戦後首相期(三) 11 戦後首相期(四) 12 戦後首相期(五) 13 戦後首相期(六) 14 戦後首相期(七) 15 まとめ
④ 成績評価方法	平常点(100%)
④ 教科書および参考書	関連する参考書は、授業の中で提示するが、まず以下の新書を講読する。 ・清水唯一朗『原敬—「平民宰相」の虚像と実像』中公新書、2021年
④ 授業時間外学修	毎回の文献や史料を事前に読み、参考文献などで調べた上で、参加することが求められる。

 その他	就職活動と両立したい4年生には、報告担当回を優先的に選択できるなどの配慮を考えている。授業担当者の連絡先は以下の通り。fushimi@law.tohoku.ac.jp
 更新日付	2022/03/27 07:40
	<p>1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など)30～15時間、「実験、実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など)15～0時間です。</p> <p>One-credit courses require 45 hours of study. In lecture and exercise-based classes, one credit consists of 15-30 hours of class time and 30-15 hours of preparation and review outside of class. In laboratory, practical training, and practical skill classes, one credit consists of 30-45 hours of class time and 15-0 hours of preparation and review outside of class.</p>

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間に授業および授業時間外学修(予習・復習など)30～15時間、「実験、実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など)15～0時間です。

One-credit courses require 45 hours of study. In lecture and exercise-based classes, one credit consists of 15-30 hours of class time and 30-15 hours of preparation and review outside of class. In laboratory, practical skill classes, one credit consists of 30-45 hours of class time and 15-0 hours of preparation and review outside of class.